

一期一会に感謝の気持ちを込めて

オルフェがおとどけする

# アンサンブルの ひとよ

Schumann  
シューマン

ピアノ四重奏曲

変ホ長調 作品47

Schubert  
シューベルト

ピアノ五重奏曲

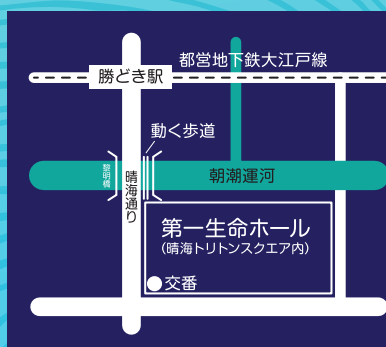
〈鱒〉

2024 **1.31** (水) **第一生命ホール** 全席自由 4,500円(税込) 開場 18:00 / 開演 18:30

主催 株式会社オルフェ

協賛 株式会社インシュアランスサービス  
株式会社サティスファクトリー  
マーブル株式会社  
株式会社オーエルエス (順不同)

後援 株式会社河合楽器製作所  
株式会社ヤマハミュージックリテイリング



ACCESS 〈第一生命ホール〉

〒104-0053 東京都中央区晴海1-8-9  
TEL:03-3532-3535

- ◇都営地下鉄大江戸線「勝どき駅」A2a出口 徒歩8分
- ◇東京駅から都営バス(都05系統)「東京駅丸の内南口」より乗車「晴海トリトンスクエア前」下車
- ◇有楽町から都営バス(都03/05系統)「数寄屋橋バス停」より乗車「晴海トリトンスクエア前」下車
- ◇機械式有料駐車場440台(有料)

# Profile



## 実宝 理佳 | Jippo Rika

国立音楽大学卒業。大学在学中に、東京石橋メモリアルホールに於いてデビューコンサート。九州交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団、ハフナトリオとの共演。イギリスでのコンサート、また、ロシア、サンクトペテルブルクに於いては、エルミタージュ美術館オーケストラとの共演。同オーケストラの東京公演の折に、ゲオルク・チチナゼ氏の指揮による、ラヴェル「ピアノ協奏曲 ト長調」を五反田ゆうほうとホールにて三夜連続でソリストをつとめる。N響、日フィル、新日フィル等、日本を代表するオーケストラの首席奏者の仲間たちとのコンサートや、2016年には、東京オペラシティに於いて、東フィルとシューマン「ピアノ協奏曲 イ短調」を共演。バイオリニストの宮内道子氏とは、ベートーベン「ピアノとバイオリンのためのソナタ」全10曲のコンサートと全10曲レコーディングを果たす。2017、2020年 けやきホールにて宮内道子氏と「DUO」コンサート。2022年、東京オペラシティリサイタルホールにて、宮内道子氏と菊地知也氏とのトリオコンサート。音楽活動に於いてベートーベン追及は、生涯の大きな目標の一つとして現在も宮内道子氏との演奏を続けている。室内楽を中心に定期的な活動は高く評価されている。緻密で理知的な音楽性に加え、繊細かつ感性豊かな演奏、またアンサンブルのできるピアニストとして定評がある。



## 宮内 道子 | Miyauchi Michiko

桐朋学園「子供のための音楽教室」を経て桐朋学園を卒業。宗倫行、ジャンヌ・イスナール、斎藤秀雄の各氏に師事。毎日コンクール小学生の部、中学生の部入賞。桐朋学園在学中にアメリカ公演に参加。その後、ヴィヴァルディ合奏団のヨーロッパ公演に参加し、旧西ドイツにて演奏活動を行い帰国。2009年、ベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全10曲演奏会を東京、神奈川で開催。2010～2011年、ピアニスト実宝理佳氏と北九州市の国指定重要文化財「旧松本邸」でのベートーヴェン・ヴァイオリンソナタ全10曲コンサートは好評を博した。この10曲を取めたCDは現在好評発売中。東京に於いては、2017、2020年、けやきホールにて、実宝氏と「DUO」コンサート、2022年、東京オペラシティリサイタルホールにて、菊地知也氏、実宝理佳氏と「TRIO」コンサートを開催。現在、ソロ活動の他、新ヴィヴァルディ合奏団、ピアノトリオ等のアンサンブル、またレコーディングや、後進の指導など、多岐に渡り活躍中。



## 篠崎 友美 | Shinozaki Tomomi

1995年桐朋学園大学を首席で卒業。1992年東京国際音楽コンクール室内楽部門において「齋藤秀雄賞」受賞。1994年ライオネル・ターティス国際ヴィオラコンクール特別賞受賞。1997年ミュンヘン国際音楽コンクール第3位入賞。2002年～2021年3月まで、新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者を務め、現在東京都交響楽団首席奏者。ソリスト、室内楽奏者としても幅広く活躍しており、霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭等、数多くのフェスティバルに参加。紀尾井ホール室内管弦楽団、トリトン晴れた海のオーケストラ、サイトウ・キネン・オーケストラ、ラ・ストラヴァガンツァ東京等のメンバー。桐朋学園大学非常勤講師。



## 菊地 知也 | Kikuchi Tomoya

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学卒業。第6、8回霧島国際音楽祭にて奨励賞受賞。東京藝術大学にて安宅賞受賞。第60回日本音楽コンクール第1位、併せて増沢賞、特別賞受賞。第4回日本室内楽コンクール第1位、併せて東京都知事賞受賞。第1回全日本ビバホールチェロコンクール第1位。霧島国際音楽祭など多くの音楽祭に参加している。また、紀尾井ホール室内管弦楽団、アンサンブル・ノマド、アクロス弦楽合奏団、カルテット・ブラチナム、パロック21、アンサンブル・ロココのメンバーとしての室内楽活動やソリストとしても活躍。東京芸術大学、桐朋学園大学、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。現在、日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェリスト。公益社団法人日本演奏連盟理事。日本チェロ協会理事。才能教育研究会特別講師。

©Ayane Shindo



## 吉田 秀 | Yoshida Shu

1986年東京芸術大学音楽学部卒業。芸大フィルハーモニア首席奏者を経て1991年NHK交響楽団に入団。現在首席奏者を務める。室内楽の分野ではオーギュスタン・デュメイ、ピカス・ズッカーマン、ライナー・キュッヒル、ギドン・クレメル、マリア・ジョアン・ピリス、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、マルタ・アルゲリッチ、ゲルハルト・オピッツ、カルミナ弦楽四重奏団、ベルリンフィルピアノ四重奏団、ターリッヒ弦楽四重奏団、メロス弦楽四重奏団、ライブツィヒ弦楽四重奏団、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、モザイクカルテットなどと共演。また東京シンフォニエッタ、いづみシンフォニエッタ大阪、紀尾井ホール室内管弦楽団、鎌倉ヴリステンなどのメンバーとしても活動。霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭などに参加。東京芸術大学教授、東京音楽大学特任教授、相愛大学客員教授、沖縄県立芸術大学非常勤講師。ディッターズドルフ、ヴァンハルのコンチェルトを含むCD『夢』、無伴奏コントラバス曲集『鳥の歌』をリリース。